



11月はロータリー財団月間です。地域においては一大事業の地区大会が11～12日に開催されます。

さて、TRFはロータリー財団 (The Rotary Foundation) の略ですが、1917年第6代RI会長アーチ・クラフが「世界のためにより良いことをしよう」と全世界に呼びかけて「基金」が設立されました (最初は\$26.50)。これは、ロータリアンが世界で人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成出来るようにすることを目標にしたものです。それ以降、90余年経過した今、TRFの資産は1928年の\$5,739から\$7億になっています。ロータリー財団の発展の礎となったのは、ポール・ハリスの死を悼むロータリアン達の熱い思いによるものです。

ロータリアンが奉仕活動に提供した資金は\$20億、マッチング・グラントは29,000件以上、そして1947年に国際親善奨学金を設立し、今日まで115ヶ国以上の国から47,000人以上の奨学生を援助しており、民間団体では世界最大規模の奨学金を提供しています (金額ベースで\$4億7,600万)。

そして、ロータリアンと国際ロータリーとロータリー財団は、トライアングルの緊密な関係を保っています。ロータリー財団がこれほど効果的なのは、資金と人との絶妙な組合せによるものです。「金だけではたいしたことは出来ない、個人の奉仕は金が無ければ無力である。」

ロータリー財団は2017年に創立、100周年を迎えるにあたり、奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。創立以来、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでしたが、ここに来

て、効果的で効率の良い支援方法を編み出しました。それは未来の夢計画と呼ばれるもので、私の年度はその準備年度と位置付けられました。

未来の夢計画は、プログラムと運営を簡素化すること、意思決定を地区に移行することにより、地区レベルとクラブレベルでR財団が自分達のものという自覚を高めること、R財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること等を目的としています。

次に、RI理事会は、11月5日を含む1週間 (月曜日から日曜日) を「世界インターアクト週間」として、世界中のロータリークラブとインターアクトクラブに国際規模の顕著な共通活動に参加してもらうことを目的としています。

すなわち、ロータリアンとインターアクターの高校生とが合同で国際的な活動に参加してもらおうというものです。言うまでもありませんが、インターアクトクラブは12才～18才までの若い人を主体とした奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で、共に活動する機会を青少年に与えるために結成されたクラブです。インターアクトクラブは、1年間に2つの奉仕プロジェクトすなわち、1. 学校や地域社会に貢献するもの、2. 国際理解を深めるものです。

さらに、四大奉仕部門から五大奉仕部門と新世代奉仕部門が注目されるようになり、インターアクトを始めとした新世代奉仕プログラムの重要性はこれからますます高まることになります。

この期間が設けられている意義を各クラブにおいて再考されることをおすすめします。